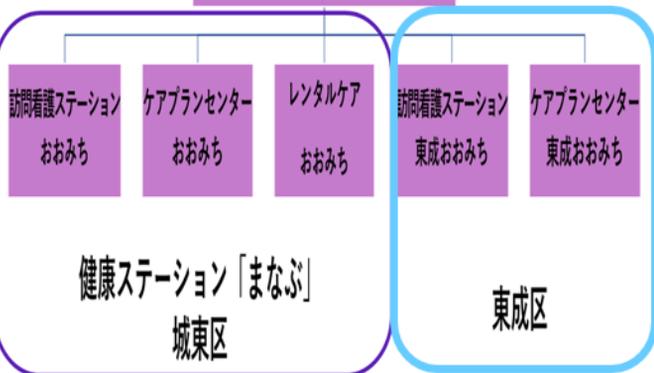


社会医療法人大道会 在宅事業部

地域に根付く訪問看護ステーションからの 訪問リハビリ

在宅事業部



理念

‘最期まで暮らしの価値をたかめる’

ミッション

‘パインレスなまちをつくる’

訪問看護リハビリテーション

PT, OT, STの3職種が看護師と連携しながら乳幼児期～終末期までの中重度の利用者さんにリハビリテーションを提供しています。理念に掲げる通り支援開始からそれ以降すべての利用者の暮らしの価値が高まるように、それぞれに抱く苦悩(ペイン)を減らすためにリハビリができることはとても多いと考えます。

地域で暮らす方のペインを減らすため様々な地域支援事業にもセラピストが関わっています

セラピストが関わっている地域支援事業を紹介

- UR都市機構・健康・医療・介護を体験できるモデルルームの紹介・現地案内
- 介護予防教室(なにわ元気塾)では地域の集会所で「認知症予防」などについて講演
- パーキンソン病をお持ちの方の患者会(PDCafe)を実施
- 子供から高齢者まで誰でも集える場として森のあそび場を開催。PTOTSTが講話や体操、相談業務を実施
- 介護保険利用者の地域ケア会議の助言者の役割も担っています。

“最期まで暮らしの価値を高める”ことを理念として、出会った方々が最期までその人らしく暮らし続けられるよう支援しています